

高山の文化

No.202 2018.10.3 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
文化情報番組「すばらしき文化の和」●HitsFM(76.5MHz)水曜AM9:30より放送中



玉賢三作 ポスター(72cm×103cm)
題名、制作年不明

平成31年 新年市民互礼会のご案内

新年を祝う「市民互礼会」を次のとおり開催します。市民の方ならどなたでもご参加いただけます。各団体の新年の顔合わせも兼ねて、ぜひご参加ください。
併せて飛騨文芸祭・一般の部の表彰式を行います。文芸祭に応募いただいた皆様のご参加をお待ちしています。

◇日時 平成31年1月1日(火)
午前11時～
◇会場 ひだホテルプラザ
◇会費 7,000円
(記念品・芳名録代を含む)
11月30日(金)までに、ハガキ
FAX、又はHPより。
◇申込み 〒506-0053
高山市昭和町1-188-1
(一社)高山市文化協会
◇申込先 (FAX) 0577-34-6877
(HP) http://www.takayama-bunka.org

子どもたちの個性と可能性にあふれた作品は、実に魅力的です。例えば、昨年度の小学生作品『飛騨高山名物 みたらしだんこのルーッをさがせ!』(団子の名称には、みだらしとみたらしの両説があります)を見て、感心しまし

た。その作品には、寛政八(一七九六)年には、高山で団子が売られていたことを示す史料が写真で収められていました。
小学生が研究のために市文化財課職員に質問し、教えてもらうことはあります。しかし、史料の写真を撮り根拠として示すことはめつたにありません。そのまとも方には、目を見張りました。

この研究を見た清見の方が、まちづくり協議会で発表する場を企画。「清見のことをこれだけ調べていることに感動した」や「この清見に住んでいることへの誇りや郷土への愛着を感じた」と参加された方々は話されました。発表の機会を得た中学生は「地域の方などに褒められて嬉しかったし、自信になった」と語っています。

子どもたちの努力への支援は、学び続けようとするエネルギーになります。
夏休み作品展の一つ、全飛騨から成長し続ける力、夏休み作品展の一つ、全飛騨を明るくふやけ、多くの成長を見守ってきました。

子どもたちの個性と可能性にあふれた作品は、実に魅力的です。例えば、昨年度の小学生作品『飛騨高山名物 みたらしだんこのルーッをさがせ!』(団子の名称には、みだらしとみたらしの両説があります)を見て、感心しまし

た。その作品には、寛政八(一七九六)年には、高山で団子が売られていたことを示す史料が写真で収められていました。
小学生が研究のために市文化財課職員に質問し、教えてもらうことはあります。しかし、史料の写真を撮り根拠として示すことはめつたにありません。そのまとも方には、目を見張りました。



昭和三十六年、発明協会高山支会会は、第一回岐阜県生徒児童発明くふう展に選抜作品を出品。当時中学生で「試験管切り」で優秀賞を受けた方は「思春期に、発明くふう展に挑戦したことは、今でも好奇心を支えています。今日の『飛騨文芸』の現代詩部門に投稿したエネルギーは、そこから発しているのでしょう」と語られました。

この研究を見た清見の方が、まちづくり協議会で発表する場を企画。「清見のことをこれだけ調べていることに感動した」や「この清見に住んでいることへの誇りや郷土への愛着を感じた」と参加された方々は話されました。発表の機会を得た中学生は「地域の方などに褒められて嬉しかったし、自信になった」と語っています。

子どもたちの努力への支援は、学び続けようとするエネルギーになります。
夏休み作品展の一つ、全飛騨から成長し続ける力、夏休み作品展の一つ、全飛騨を明るくふやけ、多くの成長を見守ってきました。

文化の卵！高山市子ども夏休み作品展



高山市教育長 中野谷 康司

子どもたちの作品は、文化の卵。今年も九月十四日から三日間、夏休み作品展が文化会館で開催。素晴らしい九百五十五点の作品が展示されました。その作品を見ると元気が出てきます。

子どもたちの個性と可能性にあふれた作品は、実に魅力的です。例えば、昨年度の小学生作品『飛騨高山名物 みたらしだんこのルーッをさがせ!』(団子の名称には、みだらしとみたらしの両説があります)を見て、感心しまし

この研究を見た清見の方が、まちづくり協議会で発表する場を企画。「清見のことをこれだけ調べていることに感動した」や「この清見に住んでいることへの誇りや郷土への愛着を感じた」と参加された方々は話されました。発表の機会を得た中学生は「地域の方などに褒められて嬉しかったし、自信になった」と語っています。

子どもたちの努力への支援は、学び続けようとするエネルギーになります。
夏休み作品展の一つ、全飛騨から成長し続ける力、夏休み作品展の一つ、全飛騨を明るくふやけ、多くの成長を見守ってきました。

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

稲垣潤一

Junichi Inagaki
コンサート2018

演奏予定曲
「ドラマティック・レイン」
「クリスマスキャロルの頃には」
「僕ならばここにいる」
「1ダースの言い訳」
「オーシャン・ブルー」 他
※曲目は変更になる場合があります。

チケット
好評販売中

平成30年 10/12 金 午後7時開演 午後6時開場
高山市民文化会館 大ホール
高山市昭和町1丁目188-1
チケット料金(税込) 〔一般〕6,000円
〔メセナメイト会員〕5,500円
〔ジュニア(18才以下)〕3,000円 ※未就学児の入場不可
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180
http://www.takayama-bunka.org
企画制作: DM ENTERTAINMENT / MSE P

演劇 男の純情



チケット
好評販売中

平成30年 11/14 水 午後7時開演 午後6時30分開場
高山市民文化会館 小ホール
高山市昭和町1丁目188-1
チケット料金(税込) 〔一般〕2,000円
〔メセナメイト会員〕1,500円
〔ジュニア(18才以下)〕500円 ※未就学児の入場不可
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
http://www.takayama-bunka.org

2014年に上演した女三人芝居「淑女のロマンス」がおじさんヴァージョンで甦る！可笑しくて、切なくて、哀感満ちた爆笑喜劇！

林家たい平 テツ and トモ 爆笑寄席！



チケット
好評販売中

平成30年 11/6 火 午後7時開演 午後6時30分開場
丹生川文化ホール
高山市丹生川町町方1
チケット料金(税込) 〔一般〕2,500円
〔メセナメイト会員〕2,000円
〔ジュニア(18才以下)〕500円
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
丹生川文化ホール tel.0577-78-2468
http://www.takayama-bunka.org

桃源郷寄席 ~なつかしの昭和時代~



チケット
好評販売中

平成30年 11/29 木 午後6時45分開演 午後6時15分開場
久々野公民館ホール
高山市久々野町久々野1505番地4
チケット料金(税込) 〔一般〕2,000円
〔メセナメイト会員〕1,500円
〔ジュニア(18才以下)〕500円
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
久々野公民館 tel.0577-52-3112
http://www.takayama-bunka.org

歌まねあり！昭和歌謡落語あり！大河内傳次郎 片岡千恵蔵ら銀幕のスターがよみがえる！

高山の文化を高めた人々 71

吟剣詩舞の興隆に尽力
唐澤龍峰（忠一）

北野龍興（興策）

唐澤忠一（雅号 龍峰）の本業は魚屋である。

昭和四十八年（一九七三）かねてから指導を受けていた義弟の大橋龍眺（晁友会会長）の勧めもあって、花川町の自宅で詩吟教室を開設した。

当時は全国的な詩吟ブームで、詩吟人口が右肩上がりに増えていた時代でもあった。

晁友会飛騨本部会長となった唐澤は、妻光枝（龍緑）との二人三脚で、吟の指導と会員の増強に努めた。温和な人



60歳ごろ



晁友会飛騨本部吟行旅行にて

柄と熱意あふれる指導、もて前の美声・吟声に魅了され、会員も徐々に増えていった。唐澤のモットーは「和を以て貴しとなす」。みんなで仲良く楽しく詩吟をしましょうという考え方で、この方針は今も引き継がれている。

高山の四季 唐澤龍峰―朝陽雪を染む 乗鞍の峯 山車麗々 紅橋に浮かぶ 宮川の香鱗 水流に遊び 黄杏風に舞う 城山の景

唐澤は、会の運営が軌道に乗りかけた頃「一人でも詩吟を習いたいという人が居たら新教場を開きなさい」という方針を打ち出した。会員を募り、教場で教える立場になると、より勉強が必要で吟力が向上する、会員の増強にもなる、という考えである。

この方針によって、新教場、新会員も増加していき、平成の初めころには、二十数教場、二百数十名の会員という飛騨で最大、県下でも有数の規模とまとまりを誇る団体となっていたのである。

唐澤の器の大きさは、こうした自分の会のことだけでなく、吟剣詩舞道界全体のことを視野に入れていたことである。とくに飛騨において、吟と舞を愛する同志は、一致団結してその興隆発展を図る

ことが大切との信念から、昭和五十二年（一九七七）飛騨各地の会派の会長に呼びかけ、その中心となつて飛騨吟剣詩舞連合会を創設した。この会は、流派を超え、お



日本吟道顕彰の碑（左から6番目）

また、晁友会が所属する公益（社）日本吟道学院からも吟道普及に功績があった人に贈られる元老という称号を授与され、没後、日本吟道顕彰碑にその名が刻印されている。

大正九年一月十四日 生
平成二十年三月七日 没
享年八十八歳

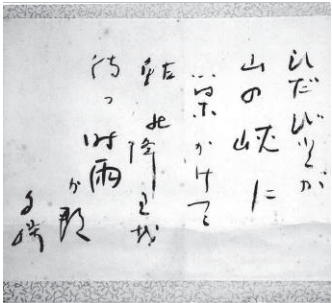
第29回 高山市近代文学館企画展
歌に見る高山の風景

10/20(土)・21(日)

高山市文化協会では、郷土の文化を支えてきた文学者の経歴と功績を紹介し、高山の文学の発展に寄与する目的で、毎年二回「近代文学館企画展」を開催しています。

今回は「歌に見る高山の風景」と題し、高山の風景を詠んだ短歌や俳句などの文学作品、約七十点を紹介します。

田中大秀、瀧井孝作などの郷土の作家はもとより、高山を訪れた著名人、野口雨情、若山牧水なども、高山の美しい風景や人々の暮らしについて



福田夕咲の和歌

ての短歌や俳句を多数遺しています。これらを通して、高山の魅力や美しさを再発見できるものと思います。ぜひ、煥章館まで足をお運びください。

◇日時 十月二十日（土）二十一日（日） 午前十時～午後五時（最終日午後四時まで）
◇会場 高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール
◇入場無料

（一社 高山市文化協会加盟団体 文化協会後援 催事案内）

飛友会カメチ写真展
◇日時 十月五日（金）～七日（日） 午前九時～午後五時（最終日午後四時まで）
◇会場 文化会館二階展示室
◇入場無料

第四十三回 進栄会発表会
◇日時 十月六日（土）午後六時三十分～
◇会場 文化会館大ホール
◇料金 前売り一、〇〇〇円／当日一、五〇〇円

影絵劇「長靴をはいたねこ」
◇日時 十月六日（土）午前十時～
◇会場 文化会館小ホール
◇入場無料

◆会場 国府さくらホール
◆料金 全席自由
大人一、〇〇〇円／小学生五〇〇円／未就学児無料
※開演前に影絵体験あり

華道家元池坊斐太支部巡回講座「今をいける」
◇日時 十月十四日（日）午前十時～
◇会場 文化会館小ホール
◇一般入場可（当日受付）

第四回 初歩から学ぶ人物デッサン会
◇日時 十月二十七日（土）二十八日（日）
◇会場 文化会館四階
◇内容 講義・講座・講評・懇親会
※詳細は問い合わせ
◇問い合わせ アート＆ヒューマンひだ
TEL〇九〇・五六二七 四六二三
FAX〇五七七・六一八〇七五

フェリーチェのクラシックパライニス
◇日時 十月十四日（日）午後三時～
◇会場 丹生川文化ホール
◇料金 前売り一般二、五〇〇円／高校生以下一、五〇〇円（共に当日五〇〇円増）

コーラス翠陽創立三十周年記念コンサート
◇日時 十月十四日（日）午後二時～
◇会場 国府さくらホール
◇協力金 五〇〇円（高校生以下無料）

第四十三回 進栄会発表会
◇日時 十月六日（土）午後六時三十分～
◇会場 文化会館大ホール
◇料金 前売り一、〇〇〇円／当日一、五〇〇円

影絵劇「長靴をはいたねこ」
◇日時 十月六日（土）午前十時～
◇会場 文化会館小ホール
◇入場無料

◆会場 国府さくらホール
◆料金 全席自由
大人一、〇〇〇円／小学生五〇〇円／未就学児無料
※開演前に影絵体験あり

華道家元池坊斐太支部巡回講座「今をいける」
◇日時 十月十四日（日）午前十時～
◇会場 文化会館小ホール
◇一般入場可（当日受付）

◆会場 文化会館小ホール
◆一般入場可（当日受付）

第42回 飛騨文芸祭入賞者決まる

《一般の部》
◆文芸祭賞 短歌十首 堀 甲枝（高山市国府町名張）
◆江夏美好賞 現代詩 該当者なし
◆高山市長賞 俳句十句 佐藤満知子（高山市初田町）
現代詩 細江 錠二（下呂市小坂町大島）
短歌十首 武藤 久美（高山市七日町）

◆高山市議会議長賞 俳句十句 小林 高子（高山市八軒町）
小説 松山 正利（下呂市金山町大船渡）

◆高山市教育長賞 随筆 逢沢とお子（高山市丹生川町新張上野）
小説 浅見 和代（高山市名田町）

◆一般社団法人高山市文化協会賞 短歌十首 宇田恵美子（高山市昭和町）
俳句十句 小 峯 孝子（高山市三福寺町）
短歌十首 片岡 和代（高山市名田町）
俳句十句 栗田美由紀（高山市上岡本町）
随筆 後藤 順（岐阜市鏡島西）
俳句十句 下垣内町子（高山市下岡本町）
短歌十首 滝上 一恵（高山市岩井町）
現代詩 中村もとい（岐阜市芥見）
短歌十首 広瀬 亮子（高山市下岡本町）
短歌十首 古瀬 和子（高山市千島町）

《青少年の部》
◆青 竜 賞 俳句五句 小木曾 都（神岡高校3年）
◆青 竜 賞 短歌五首 宇津宮雪乃（吉城高校1年）
短歌五首 上ケ平 渚（神岡高校1年）
短歌五首 河合 直緒（吉城高校1年）
短歌五首 小 峯 都（神岡高校3年）
短歌五首 村上 夢（吉城高校1年）
短歌五首 守山 拓我（神岡高校1年）
俳句五句 上ケ平 渚（神岡高校1年）
俳句五句 濱口 翔永（吉城高校1年）
俳句五句 濱本 蔵人（神岡高校3年）
現代詩 小木曾 都（神岡高校3年）

《青少年の部》
◆青 竜 賞 俳句五句 小木曾 都（神岡高校3年）
◆青 竜 賞 短歌五首 宇津宮雪乃（吉城高校1年）
短歌五首 上ケ平 渚（神岡高校1年）
短歌五首 河合 直緒（吉城高校1年）
短歌五首 小 峯 都（神岡高校3年）
短歌五首 村上 夢（吉城高校1年）
短歌五首 守山 拓我（神岡高校1年）
俳句五句 上ケ平 渚（神岡高校1年）
俳句五句 濱口 翔永（吉城高校1年）
俳句五句 濱本 蔵人（神岡高校3年）
現代詩 小木曾 都（神岡高校3年）

表彰式：平成31年1月1日（火）
新年市民互礼会場にて（会場：ひだホテルプラザ）
※青少年の部の表彰は別途行います。

（順不同）

メセナメイトシアター

恋人と何ん自由ない幸せを夢見ていた千恵（広末涼子）は、ある日乳がんを宣告される。抗がん剤治療を受けながら子供を授かるが、数年後、千恵を再び病魔が襲う。残り少ない命を覚悟し、娘のはなが暮らしていけるようにと、贅飾を削って作るみそ汁などの料理や家事の大切さを教え始める…。



平成30年 10/8 月・祝 ①午後2時～②午後7時～ 開場は各回30分前

高山市民文化会館 小ホール

入場無料 要入場整理券（開場1時間前より配布）

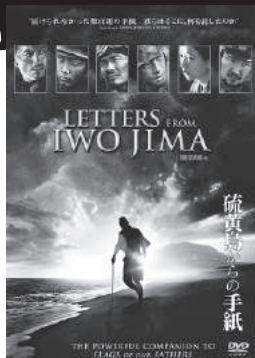
メセナメイト会員証を提示ください

会員1名につきジュニア（18才以下）2名同伴可

高山市民文化会館 小ホール
ワンコインシネマ
【第3回 シネマウィーク】



平成30年 10/22 月 ①午後2時～②午後7時～



平成30年 10/23 火 ①午後2時～②午後7時～



平成30年 10/24 水 ①午後2時～②午後7時～

高山展を、高山市民文化会館にて開催します。

六月に東京上野美術館にて開催した第六十八回日本板画院展に出品した、東海支部（愛知・岐阜・三重）の作家三十名の作品に加え、北陸支部（富山・石川）の作家二十六名の作品を含む、合計五十六点の作品を展示します。

また展示作品には、板院展の入選作



「深山の涼風」大門 孝藏

第8回 日本板画院東海支部 高山展
十月五日（金）～十月七日（日）

品もあります。ぜひご来場ください。

◇日時 十月五日（金）～七日（日） 午前九時～午後五時（最終日午後四時まで）
◇会場 文化会館四階 大会議室

「岡目（目）」
老若男女ならぬ老々男女（私も含めて）が招かれた、敬老の日の祝宴も終わった。敬老の日の祝宴も終わった。戦中戦後を生き抜いて人生の年輪を深めて来た先輩方の話は重い。
しかし、時々同じ話を何回も繰り返される方もいる。この聞き方には三通りある。「同じことを何回も言うないな」と怒るか、初めて聞くフリをして優しくなずくか。もう一つは、前に聞いたことを忘れてしまつて、本当にうなずいて聞いている人。聞く方も聞かれる方も、補聴器でなくなる。

（ガンモン毛筆）

百歳も珍しくない世界一の長寿国日本だが、その裏の少子化が問題。社会の若々しい活力とか、命の進りのようなものが欲しい。そのために老人力をどう生かせるか。このまま行くと、老人ファーストの「老人の、老人による、老人のための」社会になりかねない。「若人らのため」に、老人はその貴重な経験や知識をどう生かしてやれば良いのか。
青少年が希望を胸に、坂の上の雲を追う明日でありたい。「青雲の志」とは、仏壇の前のお線香のことではありません。